

みんなの！！

安来市加納美術館

つうしん

2022年4月
No.006

安来市加納美術館 発行

島根県安来市
広瀬町布部 345-27
☎ 0854-36-0880
<https://www.art-kano.jp/>

f 安来市加納美術館
発行 2022年4月
No.006

企画展

「没後45年 加納莞薔展」開催！

かんらい

新たに
発見された
初公開作品も！



加納莞薔「魚市場」1933

今回のみどころ

今年は平和を求め続けた画家 加納莞薔の没後45年となります。この布部に生まれた莞薔の生き方、人々との交流のなかで生まれた作品や活動を通して、人とのつながりを大切にしたい、その人となりを感じていただける展覧会になればと思います。そして戦後77年を迎える今年、改めて「平和とは何か」「戦争とは何か」を皆様と一緒に考えていけたらと思います。

4月16日(土) ~ 7月10日(日)

会期中の休館日：毎週火曜 (5/3開館・5/6振替休館)

開館時間 / 9:00~16:30 (入館は16時まで)

入館料 / 一般1,100円 高校生・大学生550円 小・中学生無料

*障がい者手帳、及びこれに準ずる手帳をお持ちの方と付き添いの方1名無料

！ 新型コロナウイルス感染症の影響により
予定が変更になる場合があります。
詳しくは美術館HPまたはお電話でお問い合わせください。



美術館HP

2022年度 展示スケジュールのご案内

平和をテーマに
バラエティー豊かな
ラインナップ！

4/16→7/10 企画展
没後45年 加納莞薔展

通期常設展示
加納莞薔展・コレクション展

7/16→9/4 企画展
へいわってどんなこと？ 浜田桂子 絵本原画展



『へいわってどんなこと？』
© Keiko Hamada 2011



平等院鳳凰堂の大棟鳳凰を撮影中の土門拳
1964年 土門拳記念館蔵

9/10→10/24 土門拳記念館コレクション展
土門拳 一肉眼を超えたレンズ

10/30→12/24 企画展
島田皓紀・内田洋彩 水墨画展

2023 1/11→3/26 企画展
安来ゆかりの美術家たち 2

昨年大反響
いただいた企画展
待望の第2弾

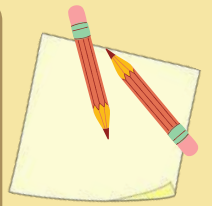
情報求む!!

当館では展覧会準備のため、安来市広瀬町出身の日本画家 瀧秋方たきあきかたの情報を集めています。何かご存じの方は当館までご一報ください。ご協力をお願いします。

美術館運営をよりよくしていくため、アンケートを実施しています
その中からいくつかご紹介し、ご意見ご要望にお答えします

子どもたちの 声を ご紹介

当館では毎年、安来市内すべての中学3年生の皆さんが平和学習の一環として加納莞蕾の活動について学びに来館されます。また、2020年からはコロナ禍の影響もあり県内の修学旅行先として当館が選ばれる機会も増えてきました。そこで今回は、昨年(2021)平和学習で来館されたり、授業で莞蕾について勉強された小・中学生の皆さんの感想をご紹介します。



修学旅行で平和学習をして

平和学習で来館して

江津市立
青陵中学校
2年生

関係がないと 思っていたけど

戦争は原爆が起きた広島と長崎ぐらいしか関係がないと思っていたけど、その場所以外の島根にも関係があることを知って驚きました。

江津市立
青陵中学校
2年生

私たちは 大事だし大切

莞蕾さんは、私たち(次の世代の人)につなげたい、伝えたいという思いがあったので、莞蕾さんにとって私たちは大事だし大切なものなんだと思いました。

松江市立
美保関中学校
3年生

バトンを受け継ぐ のは私たち

「許し難きを赦す」この意味を知れた時はとても鳥肌が立ちました。罪人として解放。無罪ではなく戦争否定の立場。平和を築く種子という気持ちでここまで伝えてくれた兵士の方のため。「バトンを受け継ぐのは私たち!」

安来市立
第一中学校
3年生

今が戦前になら ないように

今が戦前にならないように、次の世代の私たちが今できることを、本当の平和を求めていきたいなと思えるようになりました。

江津市立
青陵中学校
2年生

心を動かせる絵を 描いてみたい

莞蕾さんは昔から絵を描くことが好きでした。僕も好きです。彼は人が描けないような絵を描いています。人に感動を与え、昔の人が戦争に行っている様子を描いていました。僕は少し心が痛かったです。僕も人の心を動かせる絵を描いてみたいです。

奥出雲町立
横田小学校
5年生

楽しく笑って すごせる 毎日が平和

私は全人類が楽しく笑ってすごせる毎日が平和だと思います。誰もが泣いたり笑ったりできるのが平和だと思います。

奥出雲町立
横田小学校
5年生

自分の言葉で 伝えたい

印象に残っているのは「赦しがたきを赦す」という莞蕾さんの言葉です。それをする事で平和が生まれ、平和につながるんだなと気付きました。私はこれから下の学年に人や家族の人に、平和について自分の言葉で伝えていきたいです。

安来市立
第一中学校
3年生

行動していけるよ うになりたい

今、世界で起こっている争いごとや悲しい出来事を他人事のように思わず、関心を持ってそのことについてしっかり考えていきたいです。また、考えをもって行動していけるようになりたいです。

江津市立
青陵中学校
2年生

絵の違いに とても驚き

戦争より前と戦争の絵の違いにとっても驚きました。これまで描きたいものが描けていたのに、戦争が始まった途端、亡くなっている人やその人たちを踏んでも武器を持って戦場へ向かう人など、今では考えられないような出来事を書いてすごくむなしくなりました。それに、その絵が賞に入るなんて莞蕾さんはとても悔しかったのではないのかなと思いました。

奥出雲町立
横田小学校
5年生

ただ平和が好き ではなくて

莞蕾さんはただ平和が好きではなくて、自分から行動して平和にこうけんする、本当の平和が好きなんだなと思いました。

津和野町立
津和野中学校
3年生

誰かを思う優しい 気持ちが大切

平和を願うだけではなく、伝えていくことが大切だと思いました。加納の言葉「目には目をでは本当の平和は訪れない」がとても印象に残りました。怒りにまかせて裁いても平和にならないということ、平和には誰かを思う優しい気持ちが大切だと思いました。

安来市立
宇賀荘小学校
5・6年生

加納莞蕾 「紫陽花」をみて



安来市立
宇賀荘小学校
5・6年生

ケンカ、いじめも 平和じゃなくなる

「戦争をしない、平和な世の中を作るのは、自分たち。次の世代の子どもたち」ということを聞いて、身近なケンカ、いじめも平和じゃなくなるので、身近なところから平和にできるようにしたいです。

授業で戦犯裁判を学習して